

# 第37期 定時株主総会 招集ご通知

2022年9月1日から2023年8月31日まで

## TRANSACTION

**開催日時** 2023年11月29日（水曜日）午前10時  
受付開始 午前9時30分

**開催場所** 東京都渋谷区道玄坂一丁目21番1号  
渋谷ソラスタ コンファレンス  
（渋谷ソラスタ 4階）

**議案** 監査等委員でない取締役5名選任の件

- 目次
- 第37期定時株主総会招集ご通知
  - 株主総会参考書類
  - 事業報告



インターネットまたは  
書面による  
議決権行使期限

2023年11月28日(火曜日)  
午後7時まで

株式会社トランザクション

証券コード：7818

## 株主各位

### 第37期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第37期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載しておりますので、以下のウェブサイトにアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

当社ウェブサイト

<https://www.trans-action.co.jp/>

（上記ウェブサイトにアクセスいただき、メニューより「IR情報」>「IR資料」>「株主総会」を順に選択いただき、ご確認ください。）



また、電子提供措置事項は、当社ウェブサイトのほか、東京証券取引所（東証）のウェブサイトにも掲載しておりますので、以下よりご確認ください。

東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

（上記の東証ウェブサイトアクセスいただき、「銘柄名（会社名）」に「トランザクション」または「コード」に当社証券コード「7818」を入力・検索し、「基本情報」>「縦覧書類／PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知／株主総会資料」欄よりご確認ください。）



なお、当日のご出席に代えて、インターネット等または書面により議決権を行使することができますので、お手数ながら株主総会参考書類をご検討のうえ、2023年11月28日（火曜日）午後7時までに議決権を行使くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

## 記

<b>1. 日 時</b>	2023年11月29日（水曜日） 午前10時 （受付開始 午前9時30分）
<b>2. 場 所</b>	東京都渋谷区道玄坂一丁目21番1号 渋谷ソラスト コンファレンス（渋谷ソラスト 4階）
<b>3. 目的事項</b>	<b>報告事項</b> 1. 第37期（2022年9月1日から2023年8月31日まで）事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件 2. 第37期（2022年9月1日から2023年8月31日まで）計算書類の内容報告の件
	<b>決議事項</b> 議案 監査等委員でない取締役5名選任の件

以上

◎当日ご出席の際は、お手数ながら本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。  
また、資源節約のため、お届けした本招集ご通知をご持参くださいますようお願い申し上げます。

**招集ご通知に関するご案内事項**

- ◎ご返送いただいた議決権行使書用紙において、議案に対する賛否の表示がない場合は、賛成の意思表示をされたものとしてお取り扱いいたします。
- ◎本株主総会においては、書面交付請求の有無にかかわらず、一律に電子提供措置事項を記載した書面をお送りいたします。  
なお、電子提供措置事項のうち、次の事項につきましては、法令及び当社定款第14条の規定に基づき、お送りする書面には記載しておらず、「第37期定時株主総会招集ご通知（交付書面非記載事項）」としてインターネット上の当社及び東証のウェブサイトに掲載しております。
  - ①事業報告のうちの一部
  - ②連結計算書類及び計算書類
  - ③監査報告書したがいまして、「第37期定時株主総会招集ご通知（交付書面非記載事項）」に記載している事業報告、連結計算書類及び計算書類は、会計監査人が会計監査報告書を、監査等委員会が監査報告を作成するに際して監査をした対象書類の一部であります。
- ◎電子提供措置事項に修正の必要が生じた場合は、その旨、修正前及び修正後の事項を当社及び東証ウェブサイトに掲載させていただきます。
- ◎本定時株主総会の決議結果は、書面による決議通知のご送付に代えて、本定時株主総会終了後、当社ウェブサイトに掲載させていただきますので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

# 議決権行使のお願い

株主総会における議決権は、株主の皆さまに当社の経営にご参加いただく重要な権利です。株主総会参考書類をご検討のうえ、議決権の行使をお願い申し上げます。



## インターネット等による議決権行使

- QRコードを読み取る方法
  - ログインID・仮パスワードを入力する方法
- 上記のいずれかの方法により議決権を行使ください。

詳細は次頁をご参照ください。

(QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。)

行使期限

2023年11月28日（火）午後7時まで



## 書面による議決権行使

本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、ご返送ください。

行使期限

2023年11月28日（火）午後7時到着



## 複数回にわたり行使された場合の議決権の取り扱い

- インターネット等と書面により重複して議決権を行使された場合は、インターネット等による議決権行使の内容を有効として取り扱わせていただきますのでご了承ください。
- インターネット等により複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。またパソコンとスマートフォンで重複して議決権を行使された場合も、同様に最後に行使された内容を有効とさせていただきます。



## 株主総会へ出席

株主総会開催日時

2023年11月29日（水）午前10時



## インターネット等による議決権行使

行使期限

2023年11月28日（火）午後7時まで

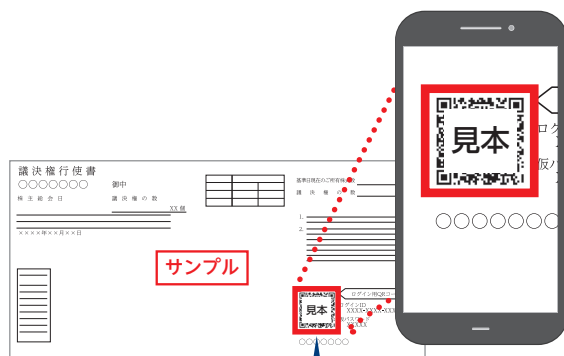
招集ご通知

株主総会参考書類

事業報告

### スマートフォンによる行使方法

議決権行使書用紙に記載された  
QRコードを読み取る



「ログイン用QRコード」はこちら

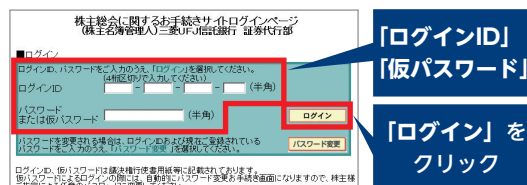
(QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。)

### パソコン等による行使方法

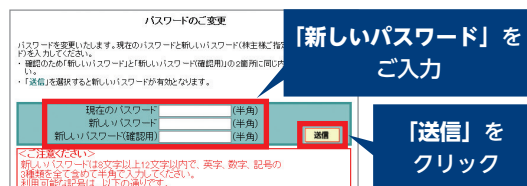
1 議決権行使ウェブサイト  
アクセスする  
<https://evote.tr.mufg.jp/>



2 ログインする  
お手元の議決権行使書用紙の右下に記載された  
「ログインID」及び「仮パスワード」を入力し、  
「ログイン」をクリック



3 新しいパスワードを登録



以降は画面の指示に従って議案に対する賛否をご入力ください。

### 議決権電子行使 プラットフォームについて

機関投資家の皆さまは、株式会社  
「CJ」が運営する議決権電子行使  
プラットフォームをご利用いただけ  
ます。

ご不明な点等がございましたら、以下のヘルプデスクへお問い合わせ願います

システム等に関するお問い合わせ先  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(ヘルプデスク)

0120-173-027

(受付時間 午前9時から午後9時まで 通話料無料)

# 株主総会参考書類

## 議案 監査等委員でない取締役5名選任の件

監査等委員でない取締役4名全員は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、コーポレート・ガバナンス強化のため1名を増員し、監査等委員でない取締役5名の選任をお願いするものであります。なお、当社監査等委員会は、各候補者の当事業年度における業務執行状況等を勘案し、全ての候補者について適任であると判断しております。

監査等委員でない取締役候補者は、次のとおりであります。



生年月日 1961年10月13日生  
所有する当社株式の数 8,694,000株

いしかわ さとし

### 1 石川 諭 再任 男性

#### 略歴、地位及び担当

1984年4月	(株)ジュン入社	2010年4月	(株)クラフトワーク 取締役会長 (現任)
1987年1月	当社設立 代表取締役社長		
2008年5月	(株)T3デザイン 取締役会長 (現任)	2019年10月	当社 報酬委員会委員長 (現任)
11月	(株)トランス 取締役会長 (現任)	2022年11月	当社 代表取締役会長 (現任)
	(株)トレードワークス 取締役会長 (現任)	2023年5月	当社 サステナビリティ委員会 委員 (現任)

#### 重要な兼職の状況

(株)トランス 取締役会長	(株)クラフトワーク 取締役会長
(株)トレードワークス 取締役会長	(株)T3デザイン 取締役会長

#### 監査等委員でない取締役候補者とした理由

石川諭氏は、当社の創業者として当社設立時から代表取締役を務め、時代の先を読む視点を持って当社及び当社グループをリードしてきました。同氏は、経営の重要事項の決定及び業務執行に対する監督など、当社グループ全体の企業価値向上に資するべく役割を務めており、引き続き当社取締役として適任であると判断いたしました。

ちば けいいち

### 2 千葉 啓一 再任 男性

#### 略歴、地位及び担当

1989年10月	(株)ナムコ (現株)バンダイナムコ エンターテインメント) 入社	2008年1月	(株)トレードワークス 代表取締役社長 (現任)
2001年10月	当社入社 企画課長	2019年9月	(株)クラフトワーク 取締役 (現任)
2003年6月	(株)トレードワークス 営業部長	11月	当社 常務取締役
2005年9月	同社 執行役員営業本部長	2020年11月	当社 専務取締役
2007年7月	同社 取締役事業本部長	2022年11月	当社 代表取締役社長 (現任)
8月	当社 取締役 (株)トランス 取締役 (現任)	2023年5月	当社 サステナビリティ委員会 委員長 (現任)

#### 重要な兼職の状況

(株)トレードワークス 代表取締役社長	(株)クラフトワーク 取締役
(株)トランス 取締役	(株)T3デザイン 取締役

#### 監査等委員でない取締役候補者とした理由

千葉啓一氏は、2007年8月に取締役に就任し、併せて当社グループの主要事業会社である株式会社トレードワークスを代表取締役として率い、強いリーダーシップを発揮しております。同氏は、長年の経験により、グループ企業経営及び事業会社の運営にかかる豊富な見識、実績を有しており、引き続き当社取締役として適任であると判断いたしました。

きたやま よしなり

**3 北山 善也** 再任 男性

## 略歴、地位及び担当

1988年 4月	野村證券(株) (現野村ホールディングス(株)) 入社	2016年11月	(株)クラフトワーク 取締役 (現任)
2015年 6月	当社入社 執行役員社長室長		(株)T3デザイン 取締役 (現任)
11月	当社 取締役経理部・経営企画部・財務部・総務部・システム部担当	2018年 9月	当社 取締役経理部・経営企画部・人事部・総務部・システム部担当 (現任)
2016年 9月	当社 取締役経理部・経営企画部・総務部・システム部担当	2023年 5月	当社 サステナビリティ委員会委員 (現任)

## 重要な兼職の状況

(株)クラフトワーク 取締役  
(株)T3デザイン 取締役

## 監査等委員でない取締役候補者とした理由

北山善也氏は、2015年11月に取締役に就任し、当社及び当社グループの管理部門を率い、強いリーダーシップを発揮しております。同氏は、前職を含めた長年の経験により、これらの管理部門全般の統括にかかる豊富な見識、実績を有しており、引き続き当社取締役として適任であると判断いたしました。

いぐち ゆきこ

**4 猪口 祐紀子** 再任 女性

## 略歴、地位及び担当

1988年 4月	(株)丸井 (現(株)丸井グループ) 入社	2019年 3月	(株)トレードワークス 取締役 (現任)
2008年 5月	(株)T3デザイン 代表取締役社長		(株)T3デザイン 取締役
2016年11月	(株)トランス 取締役	2023年 5月	当社 サステナビリティ委員会委員 (現任)
2018年11月	当社 取締役 (現任)	9月	(株)T3デザイン 代表取締役社長 (現任)
2019年 3月	(株)トランス 代表取締役社長 (現任)		

## 重要な兼職の状況

(株)トランス 代表取締役社長 (株)トレードワークス 取締役  
(株)T3デザイン 代表取締役社長

## 監査等委員でない取締役候補者とした理由

猪口祐紀子氏は、当社グループの主要事業会社である株式会社トランス及び株式会社T3デザインの代表取締役を担っております。同氏は、幅広い経験により、グループ企業経営及び事業会社の運営にかかる豊富な見識、実績を有しており、引き続き当社取締役として適任であると判断いたしました。



生年月日 1965年 4月 9日生

所有する当社株式の数 82,100株



生年月日 1965年10月 9日生

所有する当社株式の数 52,100株



生年月日 1962年2月26日生

所有する当社株式の数 0株

## 5 アールフット 依子 よりこ

新任 社外 独立 女性

略歴、地位			
1984年4月	(株)毎日コミュニケーションズ(現株マイナビ)入社	2005年11月	ワナー・エンターテイメントジャパン(株)(現ワナーブラスジャパン合同会社)バイスプレジデント兼ワナーブラスコンシューマプロダクツ日本・韓国代表
1986年9月	プロクター・アンド・ギャンブル・ファー・イースト・インク(株)(現P&Gジャパン合同会社)入社	2015年12月	(株)ポッテガ・ティグレ 代表取締役(現任)
1989年9月	プエナ・ビスタ・ホーム・エンターテイメント(株)(現ウォルト・ディズニー・ジャパン(株))入社	2018年6月	フィールズ(株)(現円谷フィールズホールディングス(株))社外監査役
2001年10月	ウォルト・ディズニー・インターナショナル・ジャパン(株)(現ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)) ディズニー・パブリッシング・ワールドワイド日本代表兼バイスプレジデント	2020年6月 2022年6月	同社 社外取締役 同社 取締役(現任)

重要な兼職の状況	
(株)ポッテガ・ティグレ	代表取締役
円谷フィールズホールディングス(株)	取締役

社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要

アールフット依子氏を社外取締役候補者とした理由は、IPやコンテンツビジネス業界を中心としたマーケティング及び経営における豊富な経験に基づく高い専門性と幅広い見識を有しており、当該知見は当社グループの主要な事業においても近年重要度が高まっていることから、専門的かつ多角的な観点から有益な助言等をいただくこと、及び、客観的・独立的な立場から当社グループ経営全般に対する意見をいただくことでコーポレート・ガバナンスの強化に寄与するものと期待するためであります。

- (注) 1. 各候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
2. 候補者アールフット依子氏は、社外取締役候補者であります。
3. 候補者アールフット依子氏は、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員要件を満たしており、当社は同氏の選任が承認された場合は、独立役員として指定し、同取引所に届け出る予定であります。
4. 当社は、定款第33条第2項において、会社法第427条第1項の規定に基づき、取締役(業務執行取締役等であるものを除く。)との間に、任務を怠ったことによる損害賠償責任を限定する契約を締結することができる旨を定めていることから、これに基づき、候補者アールフット依子氏の選任が承認された場合は、当社は同氏との間で当該契約を締結する予定であります。なお、当該契約に基づく損害賠償責任限度額は、10,000千円と同法第425条第1項に定める最低責任限度額とのいずれか高い額としております。
5. 当社は、保険会社との間で会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しており、当該保険契約の内容の概要は「第37期定時株主総会招集ご通知(交付書面非記載事項) 四(3)役員等賠償責任保険契約の内容の概要」に記載のとおりであります。監査等委員でない取締役候補者の選任が承認された場合は、各氏は当該保険契約の被保険者に含まれることとなり、また、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。



(参考) 議案承認後の取締役のスキルマトリクス

		監査等委員でない取締役					監査等委員である取締役		
地 位		代表取締役 会長	代表取締役 社長	取締役	取締役	社外取締役	社外取締役 (常勤)	社外取締役	社外取締役
氏 名		石川 諭	千葉 啓一	北山 善也	猪口 祐紀子	アールフット 依子	佐々木 稔郎	櫛本 健夫	松尾 祐美子
社外取締役・独立役員						社外 独立	社外 独立	社外 独立	社外 独立
委員 会 議 会 の 及 び 構 成	取締役会 (★は議長)	★	●	●	●	●	●	●	●
	監査等委員会 (★は委員長)						★	●	●
	報酬委員会 (★は委員長)	★					●	●	
	サステナビリティ委員会 (★は委員長)	●	★	●	●		●		
主 取 締 役 の 保 有 す る 知 見 と 経 験	経営 (社長)	●	●		●	●	●	●	
	営業・マーケティング	●	●		●	●	●		
	eコマース	●	●		●				
	新規事業開発	●	●			●			
	製品企画・開発	●	●						
	生産・調達・ロジスティクス	●	●						
	ESG・サステナビリティ・多様性	●	●	●	●		●		●
	リスクマネジメント	●	●	●	●		●	●	●
	法務・コンプライアンス			●	●		●		●
財務・会計			●				●		
士業等の資格								公認会計士・ 税理士	弁護士・ 米国NY州 弁護士

(注) 上記の一覧は、各取締役が保有する知見や経験の全てを表すものではなく、主なものに「●」をつけております。

知見・経験の詳細

経営 (社長)	企業経営 (社長) の経験
営業・マーケティング	営業、マーケティングの知識や経験
eコマース	eコマースの知識や経験
新規事業開発	変化への対応力、新規事業を開発するスキル
製品企画・開発	変化への対応力、新製品を企画・開発するスキル
生産・調達・ロジスティクス	生産・生産管理、加工、物流などの海外調達に関する知識や経験
ESG・サステナビリティ・多様性	ESG、サステナビリティ、多様性への理解
リスクマネジメント	リスクマネジメントの知識や経験
法務・コンプライアンス	法律の知識、コンプライアンスに関する知識や経験
財務・会計	財務・会計等の知識や経験

以上

## 1 企業集団の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用、所得環境の改善や新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等により緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方で、円安による生活必需品の値上げやエネルギーコストの上昇が相次ぎ、年度後半には再び円安が進むなど先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、第4次中期経営計画において掲げた5つの重点戦略、「SDGs推進から生れる製品需要」「コト消費から生れるモノ消費」「Afterコロナに訪れるリベンジ需要」「eコマースの強化」「国内自社製造の強化」を柱として、社会環境や消費動向の変化をタイムリーに捉え営業活動、新製品開発を強化いたしました。

#### 【エコプロダクツ】

エコプロダクツにおいては、重点戦略「SDGs推進から生れる製品需要」を掲げ、環境に配慮した製品カテゴリーの拡充に努めました。これらの製品は、素材にオーガニックコットンや再生素材、バイオマスプラスチック、天然素材などを原材料とした繰り返し使える製品です。また、廃棄資源にアイデアやデザインなどの付加価値を与え、より価値の高い製品に生まれ変わらせたアップサイクル製品の拡充、提供を推し進めました。これらは、SDGs達成に寄与するエコプロダクツであるため、SDGsを推進する顧客企業からも評価を受けており、展示会やセミナーなどでノベルティとして活用される機会が増加いたしました。さらに、社会経済活動が正常化する中で、セールスプロモーション全体が活性化した結果、エコバッグやタンブラー・サーモボトルなどの主力製品のほか、ステーションナリーやカトラリー製品などの売上が好調に推移したことから、前期を大きく上回る結果となりました。

また、当期においても、「フェアトレード ミリオンアクションキャンペーン2023」に参加いたしました。エシカルブランド「MOTTERU」では、ジェンダーレスカラーを取り入れたカラーバリエーションの充実やカトラリー製品、傘等の製品カテゴリーを拡充したこと、人気キャラクターとのコラボ製品や機能性、デザイン性を兼ね備えた製品の開発、販売を開始したことにより、更に認知度が向上いたしました。その結果、2021年に続き、環境省主催の「選ぼう！3Rキャンペーン2022」の対象製品に選出されました。さらに、夏休みものづくりワークショップイベント「SHIBUYA WANDERING CRAFT 2023 カラフルフェスティバル ～シブヤをカラフルに彩る4日間～」に賛同し、エコバッグを提供するなど、様々なキャンペーン企画に参加し社会貢献活動にも取り組みました。

この結果、エコプロダクツ全体では、前期比で25億44百万円、33.3%の増収となりました。

### 【ライフスタイルプロダクツ】

ライフスタイルプロダクツにおいては、重点戦略「コト消費から生れるモノ消費」「Afterコロナに訪れるリベンジ需要」を掲げ、エンタテインメント業界への営業を強化いたしました。特に、ライフスタイルプロダクツの売上を大きく牽引しているゲーム・アニメ業界やVTuber、2.5次元、スポーツイベントなどの業界においては、イベントの開催制限の大幅な緩和もあり、大型リアルイベントの開催を始めとして業界全体が活性化したことにより、前期を大きく上回る売上高となりました。音楽・舞台などの業界においても徐々に活気を取り戻していることから、今後の需要拡大に向けて営業活動を強化いたしました。ペットウェア・関連製品においては、「ラクルムウェア」が2022年度グッドデザイン賞を受賞したことにより認知度が向上したことや、アウトドア・レジャー関連用品のブランドとのコラボ製品や、有名なお菓子メーカーのパッケージをモチーフにしたペット用ベッド、おもちゃなどを新しく投入し、販路拡大に努めた結果、売上が好調に推移いたしました。一方で、トラベル関連製品では、コロナ禍前の売上水準まで戻っておりませんが、前期に比べ3倍強の売上高となりました。当期は、国内旅行の需要はゴールデンウィークを境に増加いたしました。トラベル関連製品の売上に繋がる海外への旅行需要については回復傾向が強まっており、今後の回復に向けて販路拡大などの営業活動や新製品開発に注力いたしました。この結果、ライフスタイルプロダクツ全体では、前期比で24億52百万円、28.0%の増収となりました。

### 【ウェルネスプロダクツ】

ウェルネスプロダクツにおいては、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類へ移行したことを受け、「感染対策製品」の取り扱いを終了することといたしました。残在庫につきましては、当第3四半期連結会計期間において特別損失として棚卸資産廃棄損38百万円を計上いたしました。これらの結果、前期比で3億48百万円、21.9%の減収となりました。

## ■eコマース事業

eコマース事業においては、重点戦略「eコマースの強化」を掲げ、2025年8月期に連結売上高に占める割合を30%以上とする目標に向けて取り組みを強化いたしました。主力サイト「販促STYLE」「MARKLESS STYLE」においては、登録製品の拡充やユーザビリティを向上するなど利用促進に努めた結果、前期に比べ売上が大きく伸びました。特に、「MARKLESS Connect」では、連携先の増加に加え、連携済の企業に対するリアルとeコマースを融合したハイブリッド型の営業活動を始めたことによる成果が顕著に表れ、前期に対し大幅に売上が拡大いたしました。

「DtoC」\*サイトにおいては、物販・OEM向けの自社プラットフォームサイト「オリジナルグッズプレス」やペットウェア・関連製品を取り扱う「Calulu ONLINE STORE」において、SNSの効果的な活用により売上が拡大いたしました。また、今後の需要拡大に対応するため、トラベル関連製品を

---

取り扱う「gowell」のサイトを一新いたしました。この結果、「DtoC」サイトに加え主力サイトの売上が大きく伸長したことにより、eコマースの売上は前期比で16億19百万円、56.2%の増収となり、売上構成比も前期より3.8ポイント拡大し19.6%となりました。

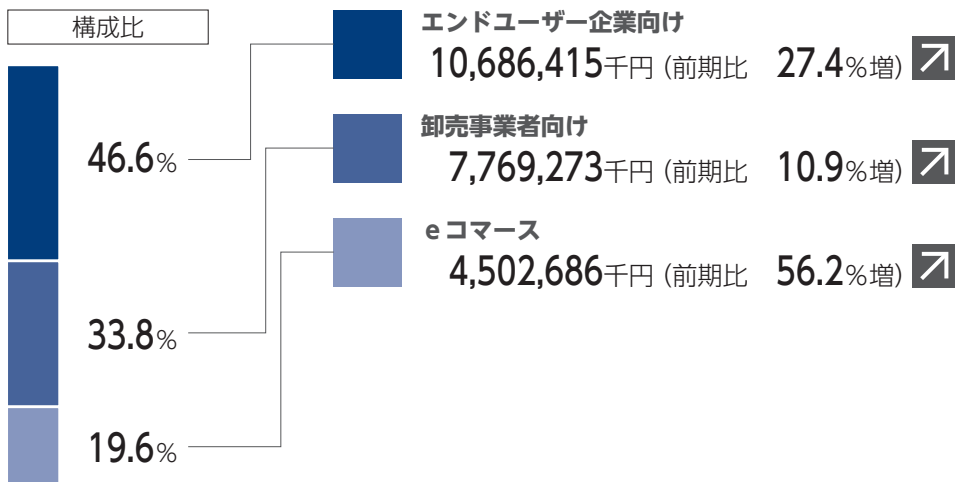
※「Direct to Consumer」の略で、メーカーが自社で企画・製造した商品を、卸売業者や店舗などの中間業者を介さず、直接最終顧客に販売するビジネスモデル

生産面においては、複数の生産拠点の確保及び為替変動や原材料価格高騰に対応した機動的な生産地の切り替え、物流経路の最適化を図り、継続した安定供給の実現と価格競争力の強化に努めました。しかしながら、円安の進行が想定を大幅に上回ったことによる負担増から2022年10月以降やむを得ず製品の値上げを実施いたしました。国内自社工場においては、重点戦略「国内自社製造の強化」を掲げ、キャパシティ拡大や新規設備への投資を行い、内製化率、生産性の向上に努めましたが、想定を超える製造コストの上昇から2023年1月以降印刷加工費の値上げを実施いたしました。また、前期に積み増した在庫水準を維持してきましたが、当第4四半期より適正化に向けた対応を進めました。

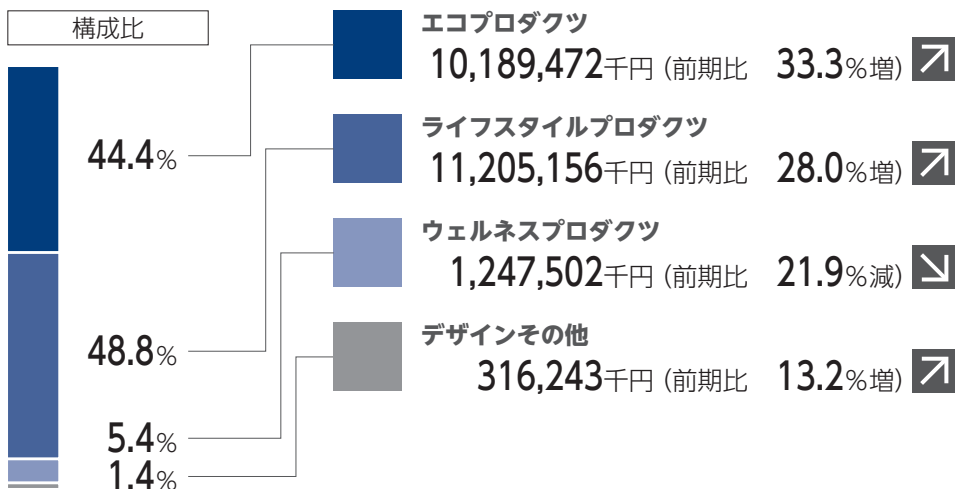
この結果、売上高及び各段階利益ともに過去最高となり、当連結会計年度の売上高は229億58百万円（前連結会計年度比46億85百万円、25.6%の増加）となりました。営業利益は、社員への還元として決算賞与76百万円及び職場環境改善のためのオフィスリニューアル23百万円を一過性の費用として計上いたしました。売上高の伸長による売上総利益の確保、販売費及び一般管理費の計画的支出により46億58百万円（前連結会計年度比14億26百万円、44.1%の増加）、経常利益は47億86百万円（前連結会計年度比14億82百万円、44.9%の増加）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、感染対策製品の取り扱い終了による特別損失38百万円を計上した一方、賃上げ促進税制の適用により税負担が41百万円軽減されたことなどにより33億5百万円（前連結会計年度比11億9百万円、50.6%の増加）となりました。

当連結会計年度における販売経路別及び製品分類別の販売実績は、次のとおりであります。

販売経路別  
販売実績



製品分類別  
販売実績



(注) デザインその他は、グラフィック・プロダクト・WEBデザインを受託業務や印刷業務等の雑貨製品に該当しないものであります。

## (2) 対処すべき課題

### ① サステナビリティへの対応

当社グループは、持続可能な社会の実現に貢献する企業であり続けるために、サステナビリティへの取り組みを重視しております。経営上の課題として、事業、環境、社会、ガバナンスの観点から当社グループが取り組むべきマテリアリティ（重要課題）を特定しており、特に、環境問題は優先して取り組まなければならない重要課題のひとつと認識しております。当社グループは、創業以来、エコバッグ、タンブラー・サーモボトルを始めとした「エコプロダクツ」の開発、供給に注力しております。単に環境に配慮した素材や再生素材を使用した製品を開発するだけではなく、“使い捨てを使わない”“繰り返し使える”を理念とし、「モノづくりから環境を考える」をテーマとして、SDGs達成に向けて環境に配慮した製品の開発・提供を強化してまいります。当社グループは、経営理念と行動指針のもと、マテリアリティに対処・挑戦することで企業として成長を続け、企業価値の向上とサステナブル社会の実現への貢献を継続してまいります。

### ② 適地生産・最適物流の徹底

当社グループは、製品製造にあたり、中国及びその他のアジア諸国のサプライヤーに生産を委託しております。生産委託先のある各国・各地域には、政治的・社会的な混乱、自然災害、テロ、紛争、疾病、通貨切り上げ等のリスクが存在しますが、有事の際の損害を最小限に抑えるべく、その国や地域の特色を把握したうえで適切な製品生産地を選定し、製造計画を立てるなどの対応を図ってまいります。

また、地政学的リスクによるエネルギー価格や原材料価格の変動、生産国賃金、輸送コスト、為替変動、感染症による生産地のロックダウンやサプライチェーンの混乱、気候変動等によるコストへの影響を踏まえ、機動的な生産地の切り替えや複数の生産拠点の確保、物流、国内在庫の最適化に加え、国内自社工場での製造を強化してまいります。

### (3) 重要な親会社及び子会社の状況 (2023年8月31日現在)

#### ① 親会社の状況

該当事項はありません。

#### ② 重要な子会社の状況

会社名	資本金	所在地	当社の議決権比率	主要な事業内容
株式会社トランス	90,000千円	東京都渋谷区	100%	個々の顧客の要望によるオーダーメイドの受注生産製品を主にエンドユーザーへ直接販売（EC販売含む）を行うファブレスメーカー
株式会社トレードワークス	90,000千円	東京都渋谷区	100%	自社で企画するオリジナルブランドの見込生産製品を主に卸売業者へ販売（EC販売含む）を行うファブレスメーカー及び関連商品の仕入、販売
株式会社クラフトワーク	50,000千円	埼玉県北葛飾郡杉戸町	100%	グループ内外の製品への印刷（シルクスクリーン印刷・オンデマンド印刷等）、加工、検品、アッセンブリー及び物流手配
株式会社T3デザイン	30,000千円	東京都渋谷区	100%	グループ内外のグラフィック、プロダクツ、WEBデザイン及び製品開発
Trade Works Asia Limited	US\$ 1,426,000	中国香港	100%	海外販売、アジア圏における生産品質管理及び貿易並びにVAP E及び関連商品の仕入、販売
上海多来多貿易有限公司	5,187,185人民元	中国上海市	100% (100%)	中国圏における生産品質管理
Vape. Shop USA Corporation	US\$ 50,000	米国カリフォルニア州	100% (100%)	北米におけるVAP E及び関連商品の仕入

(注) 当社の議決権比率欄の（ ）内の数字は、当社の子会社が所有する議決権比率を内数で記載しております。

---

## **(4) 資金調達の様況**

当連結会計年度中において、金融機関より長期借入金として600,000千円を借入れ、長期借入金458,796千円を返済いたしました。

## **(5) 設備投資等の様況**

当連結会計年度中において実施いたしました設備投資等（総額242,214千円）の主なものは、次のとおりであります。

### **① 当連結会計年度中に完成した主要設備等**

ECサイトのシステム構築・リニューアル、(株)クラフトワーク本社工場への太陽光発電設備設置、(株)トランス大阪支店の移転・拡充及びオフィス環境の整備を実施いたしました。

### **② 当連結会計年度継続中の主要設備の新設、拡充**

- ・(株)クラフトワーク第2工場の建設、印刷設備の新規導入及び増設
- ・基幹業務システムのリニューアル

### **③ 重要な固定資産の売却、撤去、滅失**

特記すべき事項はありません。



## 2 会社役員に関する事項

### (1) 取締役の状況 (2023年8月31日現在)

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況 (★は委員長)	
代表取締役会長	石川 諭	★ 報酬 サス	報酬委員会委員長 サステナビリティ委員会委員 株式会社トランス 取締役会長 株式会社トレードワークス 取締役会長 株式会社クラフトワーク 取締役会長 株式会社T3デザイン 取締役会長
代表取締役社長	千葉 啓一	★ サス	サステナビリティ委員会委員長 株式会社トレードワークス 代表取締役社長 株式会社トランス 取締役 株式会社クラフトワーク 取締役 株式会社T3デザイン 取締役
取締役	北山 善也	サス	サステナビリティ委員会委員 経理部・経営企画部・人事部・総務部・システム部担当 株式会社クラフトワーク 取締役 株式会社T3デザイン 取締役
取締役	猪口 祐紀子	サス	サステナビリティ委員会委員 株式会社トランス 代表取締役社長 株式会社トレードワークス 取締役 株式会社T3デザイン 取締役
取締役 (監査等委員・常勤)	佐々木 稔郎	社外 独立 報酬 サス	報酬委員会委員 サステナビリティ委員会委員 株式会社トランス 監査役 株式会社トレードワークス 監査役 株式会社クラフトワーク 監査役 株式会社T3デザイン 監査役 上海多来多貿易有限公司 監事
取締役 (監査等委員)	櫛本 健夫	社外 独立 報酬	報酬委員会委員 とちもと公認会計士事務所 所長・代表公認会計士 株式会社Ridge-i 社外取締役 (監査等委員)
取締役 (監査等委員)	松尾 祐美子	社外 独立	弁護士法人港国際法律事務所 弁護士 トライアンフィールドホールディングス株式会社 社外取締役 シグマ光機株式会社 社外取締役 公益財団法人日本陸上競技連盟 監事

**報酬** は報酬委員会を、**サス** はサステナビリティ委員会を指しております。

- (注) 1. 取締役 猪口祐紀子氏は、2023年9月1日付で株式会社T 3デザインの代表取締役社長に就任しております。
2. 取締役（監査等委員）佐々木稔郎、樺本健夫及び松尾祐美子の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。なお、佐々木稔郎氏の重要な兼職先は全て当社の子会社であります。また、同氏以外の社外取締役の重要な兼職先と当社との間には、特別の利害関係はありません。
3. 当社は、佐々木稔郎、樺本健夫及び松尾祐美子の各氏を、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
4. 取締役（監査等委員）樺本健夫氏は、銀行員及び公認会計士としての専門的な知見と豊富な実務経験を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
5. 当社は、監査等委員でない取締役及び使用人からの情報収集並びに重要な社内会議における情報共有を可能とし、内部監査部門と監査等委員会との連携を確保することにより、監査の実効性を高め、監査等委員会の監督・監査機能を強化するために、佐々木稔郎氏を常勤の監査等委員として選定しております。

## (2) 当事業年度に係る取締役の報酬等の総額

	人数	報酬等の総額	固定報酬	業績連動報酬	株式報酬
監査等委員でない取締役	4名	123,570千円	72,502千円	41,430千円	9,637千円
監査等委員である取締役（社外取締役）	4名	17,100千円	17,100千円	—	—
合計	8名	140,670千円	89,602千円	41,430千円	9,637千円
（うち社外取締役）	（4名）	（17,100千円）	（17,100千円）	（—）	（—）

- (注) 1. 2016年11月29日開催の第30期定時株主総会において、監査等委員でない取締役の報酬限度額は、年額200,000千円以内（うち社外取締役分は年額20,000千円以内）、また、監査等委員である取締役の報酬限度額は、年額50,000千円以内と決議しております。なお、監査等委員でない取締役の報酬限度額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まないものとしております。当該株主総会決議時点の監査等委員でない取締役の員数は5名（うち社外取締役は1名）、監査等委員である取締役の員数は3名（うち社外取締役は3名）であります。
2. 2019年11月28日開催の第33期定時株主総会において、社外取締役及び監査等委員である取締役を除く取締役に対する譲渡制限付株式の付与のために支給する金銭報酬債権の総額は、監査等委員でない取締役の報酬限度額とは別枠で、年額60,000千円以内と決議しております。当該株主総会決議時点の監査等委員でない取締役（社外取締役を除く）の員数は4名であります。

## (3) 取締役の報酬等の額又はその算定方法の決定に関する方針

### (報酬等に関する基本方針及び構成)

当社の取締役の報酬は、経営方針に従い、リスクテイクできる環境のもと、取締役が継続的かつ中長期的な業績向上へのモチベーションを高め、当社企業グループ全体の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブとして十分に機能するよう株主利益と連動した報酬体系とし、個々の取締役の報酬の決定に際しては各職責を踏まえた適正な水準とすることを基本方針としております。

業務執行取締役の報酬は、「固定報酬」「業績連動報酬（短期インセンティブ）」及び「株式報酬（中期インセンティブ）」で構成され、非業務執行取締役、社外取締役及び監査等委員である取締役の報酬は、その職務に鑑み、固定報酬のみとしております。

- ① 固定報酬は、役位、役割、経験年数、経営環境の変化等を総合的に勘案して決定しております。
- ② 業績連動報酬は、業績向上に対する意識を高め、取締役としての成果及び責任を明確にするため、業績数値に基づいて決定しております。具体的には、連結税金等調整前当期純利益額と担当する事業会社の税引前当期純利益額の合計額の2つを業績数値として、業務執行取締役の役割・担当と業績数値に対応した報酬額を定めた「業績連動報酬基準」に基づいて、前事業年度の実績に応じて決定しております。当該指標を採用しておりますのは、当社グループの収益力強化を図るうえで

重視している指標であり、取締役としての成果及び責任を明確にするためであります。

- ③ 株式報酬は、中期経営計画の目標達成のためのインセンティブとして企業価値向上への貢献意欲を従来以上に高めることを目的に、2019年11月開催の第33期定時株主総会の決議により導入した、取締役会が予め定める3事業年度の累計連結当期純利益を達成することを業績条件とする譲渡制限付株式報酬制度によるものであります。連結当期純利益を採用しておりますのは、株主様への配当の決定にあたって配当性向を重視しているためであります。付与する株式数については、役位、期待する役割等を勘案して決定しております。
- ④ 各報酬の割合については、業務執行取締役に挑戦を促すため、一定の固定報酬を基本としたうえで、業績連動報酬、株式報酬のバランスを考慮し、取締役会の委任を受けた報酬委員会を構成する代表取締役及び監査等委員である取締役（独立社外取締役）（以下、各報酬委員といいます。）が取締役の個人別の報酬等の内容を決定しております。

### （報酬等の決定手続）

監査等委員でない取締役の報酬等の決定に関する手続の客観性及び透明性を確保し、取締役会の監督機能を向上させ、コーポレート・ガバナンス体制をより一層充実させるため、取締役会の諮問機関として、過半数を独立社外取締役（監査等委員）とする3名の委員で構成する報酬委員会を設置しております。個人別の報酬等については、取締役会決議に基づき、各報酬委員がその具体的内容の決定について委任を受けるものとし、その権限の内容は、各取締役の固定報酬の額及び各取締役の担当事業の業績を踏まえた業績連動報酬の額としております。

取締役会は、当該権限が各報酬委員によって適切に行使されるよう報酬委員会規則を定め、報酬委員会の委員を3名とし、代表取締役1名、監査等委員である取締役（独立社外取締役）を過半数である2名とし、報酬委員会は職務の執行状況を取締役会に報告すること等を規定しております。当事業年度における個人別の報酬等の内容は、取締役会において決議された上記方針に基づき、報酬委員会で適切に審議のうえ決定しており、上記方針に沿うものであると判断しております。

なお、譲渡制限付株式報酬は、報酬委員会の決定を踏まえ、取締役会で取締役個人別の割当株式数を決議しております。

また、監査等委員である取締役の報酬等については、株主総会の決議の範囲内で監査等委員の協議により決定しております。

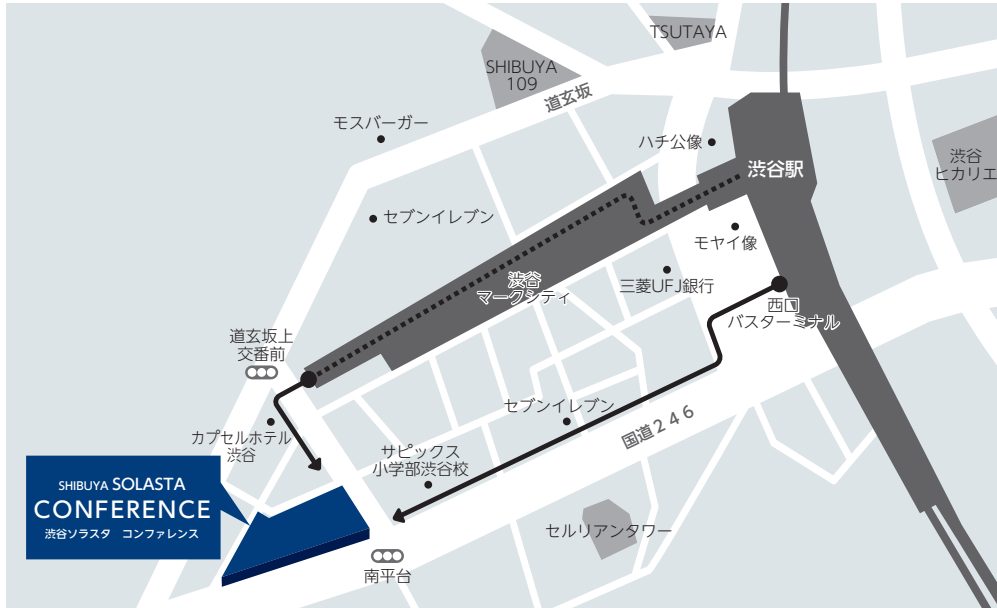
報酬委員会の構成は以下のとおりであります。

委員長	代表取締役会長	石川 諭
委員	社外取締役（常勤監査等委員）	佐々木 稔郎
委員	社外取締役（監査等委員）	櫛本 健夫

（注）本事業報告中の記載数字は、金額については表示単位未満を切り捨て、比率については表示単位未満を四捨五入して表示しております。

## 株主総会会場ご案内図

**会場** 東京都渋谷区道玄坂一丁目21番1号  
渋谷ソラスタ コンファレンス (渋谷ソラスタ 4階)  
TEL 03-5784-2604



**交通** JR 渋谷駅 西口から 徒歩6分  
渋谷マークシティ 4F 「道玄坂上方面出口」 から 徒歩2分

株主総会にご出席の株主様へのお土産の配付はございません。何卒ご理解ください  
ますようお願い申し上げます。